学校だより　令和5年度10月号

なつのくも

第169号（R5．9．29）　練馬区立光が丘夏の雲小学校

本校ホームページ新QRコードです。スマホなどからも閲覧できます。ご活用ください。

仲良く意思疎通を図る

校長　宮林　伸之

最近、多くのスポーツが新聞やテレビを連日賑わしています。

国際戦では、バスケットボール・ラグビー・サッカー・陸上…現在、中国で９月２３日～１０月８日までアジア大会も開催しています。スポーツを観戦していると、とても張り合いが出てくるように感じます。選手の姿を通して、感動を得ているからかもしれません。

日本男子バレーの活躍も目を見張るものがあります。ネーションズリーグ２０２３では、強豪イタリアを破り、銅メダルを獲得しました。国際大会での表彰台は、実に４６年ぶりだったそうです。長く低迷が続いた男子バレーは、一昨年の東京五輪で２９年ぶりに予選を突破しました。昨年のネーションズリーグでは、５位に入るなど着実に進化してきました。

飛躍の要因は、外国人指導者の招聘、海外リーグで活躍する選手の増加などいくつかあります。

しかし、私は、主力選手が次のような言葉を述べていたことが強く印象に残っています。

「今思えたことが言える関係性」がチームにはある。上も下もなく全員が仲良く意思疎通を図れる。先輩が率先してプレーしやすい環境をつくってくれた。それがチームの向上につながった。

と、　チームの向上は仲良く意思疎通を図る…

私は、この言葉を受けて、夏の雲小学校の教職員に以下のことを伝えました。

今、夏の雲小学校はいかがでしょうか。

立場や年齢にとらわれるあまり、大事なことを話せない、うわべだけの関係になれば、個々の持ち味が発揮されず、その価値は消えてしまいます。皆が「夏雲小の子供たちのために」という深い次元で互いを尊重し、目的に向かって力を合わせていけるか。ここに組織の伸展も個人の成長もあると思います。私たち管理職にもなんでも言ってください。子供たちにとっての教育効果を常に考えて話し合いたいと思っています。

現在の夏の雲小学校は、決して組織が滞っていたり目的に向かって協力できていなかったりするわけではありません。なぜ上記のことを伝えたかというと、さらによりよい組織を構築することが、子供たちのためになると考えているからです。夏の雲小学校の教職員は、とても真面目です。労を惜しまず子供たちのために日々努力しています。その思いや態度が、令和５年度全国学力状況調査の児童質問紙の回答にも表れています。２つの質問の回答を紹介いたします。

【質問 A】先生は、あなたのよいところを認めてくいると思いますか。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない
本　校	５２．５	３３．８	８．８	５．０

【質問 B】先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分るまで教えてくれていると思いますか。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない
本　校	６５．０	２６．３	６．３	２．５

【質問 A】は、肯定的な回答が今年度は、８６．３％でした。昨年度は、７８．８％でしたので、７．５％も上回りました。また、【質問 B】は、肯定的な回答が９割を越える結果となりました。

この結果に満足することなく、今後も保護者・地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、「夏の雲小学校の子供たちのために」を合い言葉に、教職員一同　仲良く意思疎通を図りながら教育活動に努めてまいります。

第４０回光が丘地区祭のお知らせ　　開催…１０月７日・８日

地区祭では、夏雲小の子供たちの図工や習字などの作品が展示されます。

また、１０月７日(土)、光が丘区民センターで行われる催事にも参加します。

１３時２０分～「夏雲ひまわり金管バンド」が演奏します。

１３時４５分～「光が丘夏の雲小学校教員バンド」が演奏します。

当日は、会場に集まった人々が笑顔になれるような展示・演奏を頑張ります！